

新体制発足のごあいさつ

2022年6月

NPO法人平塚らいてうの会

平素より平塚らいてうの会にご支援、ご鞭撻をいただき、心より御礼申し上げます。当会は、1992年に「平塚らいてうを記念する会」として発足し、2001年に「NPO法人平塚らいてうの会」となりました。平和・協同・自然を愛し、女性の自立を願って行動した平塚らいてうのこころざしを現代に生かそうと、日々活動しております。

昨年の「らいてう没後50年」「『青鞥』創刊110周年」にあたっては、コロナ禍の下でしたが、11月20日に「記念のつどいー今生かそうらいてうのこころざし」を開催することができました。皆さまのお力添えに改めて感謝いたします。

また、会が保管していた「らいてう資料」を奥村家所蔵の資料とともに大原社研に寄贈し、整理公開を委ねることができました。会に保管中のその他の資料もあわせ、資料の整理研究は、引き続き会の重要課題です。

らいてうは日本国憲法9条に共鳴し、「核兵器も戦争もない世界を」「意見が違っても一致点で共同を」と訴え続けました。ロシアのウクライナ侵攻が続く中、らいてうのこころざしを生かすことが、今まさに問われています。

当会は、会員の高齢化、らいてうの家の周辺環境の変化など、様々な困難と向き合いながら、会の活動を維持発展させる道を模索して参りました。そのための方策の一環として昨年の総会で会長制から代表理事制へと定款を変更し、去る5月28日の第23回通常総会をもって、新体制が発足いたしました。米田佐代子前会長および3名の新代表理事のご挨拶を同封のニュースに掲載いたしましたのでご高覧ください。

平塚らいてうの会の今後の維持発展のためには、個人・団体会員、らいてうの家の地元の方々をはじめ、会を支援してくださる皆さまのお力添えが欠かせません。不慣れなメンバーによる新体制のもと、何かと不十分なこともあるかと存じますが、どうか今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表理事 沓掛美知子
堀江 ゆり
三留 弥生